



## ■ 「やきゅうの神様」

「A です！あの A です！」昨年秋に開催された卒業生会の会合でそう声をかけられました。屈託のない笑顔でそう声をかけてくださったのは、令和5年度7月号②「残されたワンピース」で紹介した当時野球部のエース A さんでした。後輩から『本流』のことを知らされて拙稿をご覧いただいたとのことでした。A さんは、本校が1980年の県春季高校野球選手権大会、山陰選抜大会、中国大会の3大会で優勝した際のエースピッチャーで、その時のウイニングボールは2014年9月にご寄贈いただき今でも校長室に飾ってあります。ご寄贈いただいた当時のメモには「A さんは『夏の大会には優勝できなかったものの、この3大会すべてに優勝できたのは、一つ一つの試合を最後まであきらめず粘り強く戦い抜いたことであると今でも心からそう思っています。野球に限らず、勉強に部活動に一步一步あきらめず粘り強く取り組んでほしい。』とこのボールを渡される時、思いを込めて話されたことが印象に残っています。」と綴ってあります。



「今でも本当にそう思ってるんだよね。」A さんは穏やかな表情でそうおっしゃいました。一つ一つの試合を最後まであきらめず粘り強く戦い抜いたからこそ、卒業後の人生においてもご自身の教訓とされているのだと思います。その一瞬一瞬を大事にして真剣に向き合うことの大切さを改めて教えていただきました。

今年もその夏の大会が近づいてきました。実は、今年5月に埼玉県東松山市にある「<sup>やきゅういなり</sup>箭弓 稲荷神社」にお詣りしてきました。東松山市は昨年のワールドベースボールクラシック(WBC)で日本代表の優勝に貢献したラズ・ヌートバー選手のお母さんの出身地で、彼女の母校松山女子高校のすぐ近くにある神社です。「やきゅう」といってもベースボールという意味の漢字とは違いますが、音が同じためプロ野球選手など全国各地から野球関係者がお詣りする神社です。



箭弓稲荷神社 (埼玉県東松山市)

私はまあまあのお賽銭を投じて3つのお祈りしてきました。1つ目は男子ソフトボール部の県総体優勝です。2つ目は女子ソフトボール部の県総体優勝です。そして、3つ目は野球部の夏の大会優勝です。

そう「箭弓稲荷神社」の神様は私たちの願いをかなえてきてくれています。しかし、先のことばかり考えているだけでは「やきゅうの神様」が微笑んでくれるとは限りません。A さんに授けていただいた金言「一つ一つ



箭弓稲荷神社の境内に奉納された“野球”に因んだ絵馬

の試合を最後まであきらめず粘り強く戦い抜く」ことを心に刻み試合に臨んでください。今から44年前、県春季大会・山陰大会・中国大会の3大会を制した先輩がつかめなかった夏の大会のウイングボール。昨年プロ入りした先輩もつかめなかったウイングボール。今年こそ君たちの手でつかみ取ってきてくれ。健闘を祈っています。